

25～26 年度 第 1 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 7 月 2 2 日 (月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	担当理事 ○小澤勝美 ○平山・○山口・○今井・○小島・○大沢・○三橋・×花田・○寺本・○芝		
1. あいさつ 芝副会長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認			
②条例整備状況等のアンケート報告書の配布報告			
・ 7/初旬 横浜市景観調整課 (平山委員)			
・ 7/5 三浦市、横須賀市 7/8 逗子市、葉山町 (小島委員)			
・ 7/11 相模原市 (まちづくり支援課、条例あり) 7/16 大和市			
7/19 秦野市 (担当者が熱心であった) (寺本委員)			
・ 6/13 鎌倉市 (大沢委員)			
・ 7/19 伊勢原市、平塚市 二宮町と大磯町は郵送。(三橋委員)			
・ 川崎市は、内容にもよるが申請すれば良いこととなっている。(今井委員)			
・ 茅ヶ崎市、寒川町は未実施。今週中に行う。(山口委員)			
・ 県西地区は未実施。今週中に行う。(芝委員)			
③その他			
3. 議 題			
(1) 委員の委嘱			
・ 芝副会長より委嘱状の授与を行った。			
(2) 正副委員長選出について			
・ 委員長：寺本氏、副委員長：花田氏、大沢氏、小澤氏の 3 名とした。			
(3) 景観整備機構になるための準備 (WG にて骨子策定)			
①7/24 勉強会について 現在 15 名			
・ 相模原市職員 (降矢氏) の参加あり。ワークショップでは、塩見先生と同グループに入って頂くこととした。			
・ 申込者が少ないので、委員が必ず一人に声を掛けることとした。			
・ 委員長が決まったため、閉会のあいさつを寺本委員長にお願いする。また、寺本委員長が担当していたワークショップの進行役を大沢副委員長が行うこととした。			
・ ワークショップのグループ分け			
A 小島委員 (リーダー)、山口委員、芝委員			
B 寺本委員長 (リーダー)、今井委員、小澤副委員長			
C 三橋委員 (リーダー)、平山委員、花田副委員長			
当日は、参加者を A～C までに振り分けるため、カードを用意する。			
・ 塩見先生を囲んだ懇親会を実施する。(会場は当日決定する)			
・ 参加者の名札を作成することとした。			
・ 当日は、13:00 に集合とした。			
・ 開催案内の写真は、明るいものとして欲しい。			
②全体スケジュール (理事会での組織構築まで)			
1) 機構立ち上げ (10 月) までのスケジュールについて			

- ・ 11月の理事会にて承認頂くことを目標にした。

2) 支部キャラバンのスケジュール（担当、内容について）

- ・ 相模原支部：8/2 18:00～ 相模原市民会館にて（担当：寺本、小島、三橋）
→ 時間と場所については、後日連絡することとした。
- ・ 茅ヶ崎寒川支部：実施日未定（担当：大沢、山口、寺本）
→ ホームページで市の公開している内容を確認することとした。
- ・ 平塚支部：実施日未定（担当：花田、三橋、今井）
- ・ 横須賀支部：実施日未定（担当：小島、大沢、平山）
- ・ 伊勢原支部：実施日未定（担当：三橋、小澤、寺本）
- ・ 県西支部：実施日未定（担当：芝、花田、寺本）
- ・ 各市町村等が出しているパンフ等を収集する。
- ・ 8/1 支部長会にて協力についてのアナウンスを行う。（担当：芝）
内容としては、担当者より連絡（会議日程等についてのヒアリング）が行くので、ご協力をお願いしたい。
- ・ 依頼書の作成、アンケート、資料（統一資料と地域用資料）の作成を行う。
必要な項目：支部の特性等の把握（景観関係の仕事をしているのか）
行政のアンケート結果報告（行政が望むことがわかっていれば、その内容についての考えも聞く。）
仕事に結びついた事例紹介
景観整備機構の内容
支部と委員会（本会）との関係性（支部に押し付けることはしない）
支部が関わった景観・まちづくりに関する事業について聞くこと。
今井委員作成の資料を再編して使用することとした。
- ・ 出来れば、説明に行く前に事前配布をして内容を確認して頂きたい。
- ・ 以上のような意見等が出されたため、2班に分けて 8/1 用の資料について検討を行い、7/29 までに資料としてまとめることとした。

④景観整備機構の業務（7項目）で、何を行うのか。

- ・ 支部キャラバンの結果も踏まえて今後検討する。

⑤全国の活動事例調査

1) 全国の指定機構（ヒアリング、視察、文献等）

- ・ ヒアリング実施（内容等含む）について（候補：鎌倉） → 引き続き検討する。

2) 埼玉会、大阪会の取組みレポート作成（担当：寺本） → 次回へ

（4）その他

①委員会等運営における基本的考え方について

・ 7/16 合同役員会にて小林会長より標記について示されたものを確認した。

- 一 事務負担、経費、委員の負担も考えて常設委員会、専門委員会とも原則 2 ヶ月に 1 回の開催を基本とする。ただし、緊急の議題がある場合はその限りでない。
- 一 副会長の負担軽減の観点から、副会長の出席は常設委員会までとする。
- 一 専門委員会を統括するため、担当理事が出席する。
- 一 総財務委員会は毎月開催とする。
- 一 統括委員長会（月末を予定）の前に委員会開催日を設定すると共に、原則として統括委員長会の開催が無い月とする。

・ 棕副会長より、行事等が重複しないように調整するため、1 年間の計画を提出して欲しい。
（出来れば 2 年度分提出して欲しい）

②委員会開催日程について

・ 9/30、11/18、1/27、3/24 いずれも 15:00～17:00 神事協会議室にて

原則、第 3 月曜日とする。

③委員会規程の修正を行う。

次回 平成 25 年 9 月 30 日（月） 15:00～17:00 神事協会議室にて

25～26 年度 第 2 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 9 月 3 0 日 (月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	委員長 ○寺本 副委員長×花田・○大沢・○小澤 (担当理事) 業務支援委員長 ○福田 ○平山・×山口・×今井・○小島・×三橋・○芝		

1. あいさつ
(福田業務支援委員長より)

・業務支援委員会から 6 つの委員会をまとめ、支援していく。

・目的として、新しく会員を増やす。現 776 名の段階では、厳しく 900～1000 名にしたい。

・各委員会を回った結果、出席率に差があり木造専門委員会は出席率が高く活動に活発的である。

・マンション等の大規模修繕業務専門委員会は、委員が出揃ってなく今後活動の活性化を目指す。

・構造専門委員会、RC 関係や、耐震診断等の事から業務につながりやすい。

・景観まちづくり専門委員会、一番業務に結びつきづらい。

・業務を増やし、協会を通して仕事に結びついた場合、8 %を景観・まちづくり専門委員会に収めるという案がでた。

・研修会等で人数が足りない場合は、2 週間～1 0 日まえまでに業務支援委員会へ助けを求めて欲しい。

2. 各種報告 ①前回議事録の確認
②その他

3. 議 題

(1) 景観整備機構になるための準備

①キャラバン実施報告

②支部キャラバンの実施スケジュールについて

・茅ヶ崎支部：大沢委員、伊勢原支部：三橋委員、県西支部：芝委員を優先にスケジュールを組む。

※各支部長に連絡をとり、都合を伺うこととした。

③景観整備機構の業務（7 項目）で、何を行うのか。(再検討事項) → 次回へ

④各市町村等が出しているパンフ等の収集状況について → 次回へ

⑤全国の活動事例調査 → 次回へ

1) 全国の指定機構（ヒアリング、視察、文献等）

・ヒアリング実施（内容等含む）について（候補：鎌倉）

2) 埼玉会、大阪会の取組みレポート作成（担当：寺本）

(2) 県委託事業「平成 25 年度応急仮設住宅配置計画（案）作成業務委託」について

・委託費：472,500 円（税込）
横浜市の委託単価は、3.3 万円/件（3 年）、県は、7.5 万円/件（5 年？）

①担当グループ分け（3 つへ）

・横浜、藤沢：大沢副委員長（リーダー）、平山委員、今井委員、小島委員

・小田原、南足柄：芝委員（リーダー）、寺本委員、花田委員

・伊勢原、海老名：三橋委員（リーダー）、寺本委員、小澤委員、山口委員

②共通資料項目のチェック

・各グループにて精査する。

・不足情報の整理

- ・現況測量データ（レベル表記がされているもの）

③県との打合せ日程について

- ・現地下見の実施日をグループ毎に決定し、委員長へお知らせする。
- ・現地下見を行う際には、
 - ・写真
 - ・所見
 - ・道路状況（高低差等）
- ・朝何時から下見が可能かを聞く。

④その他

- ・MAXの住戸数が知りたい。
 - ・メイン通路 ○本、○m、サブ通路 ○本、○m
 - ・上下水（浄化槽）
 - ・電気（通信、電力）
 - ・ガス（LPG）
 - ・インフラについて
- 引き込み位置
- 何を調べて、どこまで計画するのか？（引き込み位置等）
作図方針、割り付け方針（割合）

（３）次年度予算について

- ・今年度をベースにする。

<収入の部> 合計 144,000 円

①研修会１ 受講料 3,000 円×24 名＝72,000 円

②研修会２ 受講料 3,000 円×24 名＝72,000 円

※行政職員の参加依頼を積極的に行う。

<支出の部> 合計 123,000 円

①研修会１ 会場費 0 円、資料代 15,000 円、講師料 15,000 円 合計 30,000 円

②研修会２ 会場費 0 円、資料代 15,000 円、講師料 15,000 円 合計 30,000 円

③景観整備機構運営等に係る情報収集 交通費 1,500 円×12 名 合計 18,000 円

④自治体向け当会組織案内冊子作成 作成費 20,000 円

⑤支部との連携（キャラバン） 25,000 円

<会議費>

24,260×6 回＝145,560 円

（４）その他

- ・なし

次回 平成 25 年 10 月 28 日（月） 15:00～17:00 神事協会議室にて臨時会議を開催する。

25～26 年度 第 3 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 1 0 月 2 8 日 (月)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出 席 者 (○)	委員長 ○寺本 副委員長 ○花田・○大沢・○小澤 (担当理事) ○平山・山口・今井・小島・○三橋・芝		
1. あいさつ 寺本委員長より			
2. 前回議事録 (9/30) の確認→次回へ			
3. 神奈川県応急仮設住宅調査			
①はじめに県との現地視察報告			
・ 1 0 月 1 8 日に実施された県委託業務現地調査の内容について、寺本委員長より報告がなされた。			
(1) 小田原 (鴨宮運動広場)			
・ 図面がちゃんとしたものがないので現地で寸法を測った。			
・ 隣に消防署が隣接されているので、利用ができるのでは。			
・ 向いに小学校があり、連携をどうしていくか。			
・ バックネットがあり、残して何かに使うのか。			
・ 敷地の途中にフェンスがあり、撤去するのかどうか。			
・ 公衆トイレが設備されているのでこれをどう扱うのか			
(2) 南足柄 (南足柄市体育センター)			
・ 施設の中に運動場が使えるので基本的なインフラ系がそろっている。			
(3) 伊勢原 (アクアクリーンセンター)			
・ 隣に施設が隣接している			
・ 終末処理場となっているので下水処理の件に関して不備がない。			
・ 元々敷地が予定していた用地して使用出来なくなってしまった用地である。			
・ 県のほうとしてもシミュレーションして実際に何かやりたいときに候補として挙げられている用地である。			
・ 敷地自体はインフラがそろっている			
(4) 海老名 (北部公園)			
・ 体育館、テニスコート、利用者用の駐車場隣接している広場があるが、インフラ系に不安がある。			
・ 浸水しやすい土地形状になっている。			
上記のことを踏まえて、市町村の担当の人と会話をしていただきたいとの話があり、県のほうで取りまとめている			
予定としては、1 1 月の中旬から下旬の予定であり、委員会からの出席メンバーは後日発信する。			
(5) 各グループの実施調査報告			
①駐車場に関して			
・ 伊勢原エリア スペース有り			
・ 小田原エリア 必要			
・ 南足柄エリア 不要			
・ 海老名エリア 隣接している駐車場で何とかなるか			
(6) 住棟配置計画の基本方針の検討・とりまとめ			
< 応急仮設住宅建設の留意点 >			
①通路 (搬出入車両考慮)			

- ・建設戸数の7割相当の駐車台数を用意する。ただし、県と市町村の協議によって、5割以下とすることが可能である。

②住戸まわり

- ・物干し
- ・洗濯機
- ・AC室外機
- ・植木鉢
- ・ペット（犬等）

③多目的広場

- ・1戸あたり2～3m²を標準として車両の出入りが出来るようにする。

④児童の遊び場

- ・1戸あたり3m²を目安とし設置する。

⑤集会所

- ・50戸に50m²、100戸に100m²程度のものを設置する。

⑥ゴミ置き場

- ・1戸あたり0.4m²を基準とし、給水栓を設ける。

⑦駐輪場

- ・1戸1台程度とする。難しい場合は住戸前にスペース確保する。

⑧質疑

- ・造成の有無
- ・北入り、南入りのパターンの確認。（モデルを準備）
- ・風除室はあるのかどうか？
- ・インフラはどうするのか？（北部公園）
- ・浄化槽は？（北部公園）
- ・雨水排水は素掘ソイルセメントで良いか？
- ・既存している駐車場はすべて使用可能なのか？
- ・高齢者仕様の割合はどの程度か？
- ・求める住戸数のタイプ割合は？（想定6坪が一割、9坪が六割、12坪が三割で良いか？）

その他

- ・芝副会長より小田原支部では共同作業も可能との申し出があったが、今回の6カ所の用地にて作業フローなどの基本方針を定めていかないと連携がとれないため、今回は委員会内でまずベースを作ることにする。

（7）各グループで候補用地の住棟配置計画ワーキング

- ・報告書のまとめ方（イメージ）
A3横使いとし、縮尺1／500（敷地が大きい場合は部分図も）、右側に凡例等を入れる。
提案の住棟配置は、提案型＋α？
※基本は、A3に収まる縮尺とする。（全体敷地配置）
A4、1枚に留意点の抽出を記載
A4に現地調査報告、写真、案内図等
- ・各ワーキンググループリーダーとりまとめの上、次回委員会までに住棟配置のラフ図をご用意ください。

(8) 今後のスケジュール

- ・県と調整することとした。

4. 景観整備機構の指定に向けた取り組み

①キャラバンのスケジュール（各キャラバンリーダーより予定発表）

- ・今後のスケジュール

伊勢原エリア：11月20日19時より実施予定である。

時間は三橋委員に調整を一任した。

事前のアンケートは相模原の際の書式等を寺本委員長が確認することとした。

5. その他

①予算の件について

- ・26年度の予算案は、小澤担当理事が統括委員長会にて説明した。原案通り承認の見込みである。

②勉強会の件について

- ・来年の春ごろ実施予定である。次回の委員会にて議事で取り扱う予定である。

③委員会について

- ・日程を調整の上、出席をお願いします。遅刻等のないように日程確保をお願いします。
- ・どうしても欠席・遅刻の際は連絡をするようにお願いします。

次回 平成25年 11月18日（月） 15:00～17:00 神事協会議室にて

25～26 年度 第 4 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 5 年 1 1 月 1 8 日 (月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	委員長 ○寺本 副委員長 ○花田・○大沢・○小澤 (担当理事) ○平山・×山口・×今井・○小島・○三橋・○芝		
1. あいさつ 寺本委員長より			
2. 各種報告 ①前回議事録の確認 ②その他 ・藤野の歴史的建造物めぐり冊子 (相模原市作成) を参考配布。			
3. 議 題			
(1) 予算案修正について			
・下記の通りとした。 研修会受講料を 3,500 円とし、ポイントカード使用想定を 4 名とした。 また、研修会の手伝い人件費については、1,000 円×5 名で計上することとした。			
(2) 県委託事業「平成 25 年度応急仮設住宅配置計画 (案) 作成業務委託」について			
①担当グループからの素案提出			
・藤沢市遠藤公園の素案が大沢副委員長より提示された。 他の敷地については、提示が無かったため、ワーキンググループにて実施。			
・次回の委員会開催までに全ての敷地についての素案を提出頂くこととした。			
②県との打合せの確認及び持参資料等について (現地視察写真、図面、検討素案 等)			
・現地視察報告書を作成し、提出することとし、図面及び素案の提出はしないこととした。			
③その他			
・日程及び担当について再確認を行った。			
(3) 景観整備機構になるための準備			
①支部キャラバンの実施スケジュールについて			
・11/20 19:00～ 伊勢原支部 担当：寺本、小澤、三橋 ・配布物の確認を行った。アンケートについては、伊勢原市からの回答そのものを提出する。 ・委員会チラシの見直しを実施することとした。(会の名称、委員会名称の変更) ・茅ヶ崎寒川支部：未定 (担当：大沢副委員長) ・平塚支部：未定 (担当：花田副委員長) ・横須賀支部：12/12 (木) (担当：小島委員、大沢副委員長) ・県西支部：2 月に予定 (担当：芝委員)			
②景観整備機構の業務 (7 項目) で、何を行うのか。(再検討事項)			
・第 93 条一号について検討した。 全体の方法論			
各エリアの調査資料を調べる ← 特性、興味が分かる (教育委員会、まちづくり等) ※観光政策 etc 、市長等が考えていること。 ↓ 悉皆 (しっかい) する。 まち歩きなどで詳細をつかむ ⇒ こんなことが出来る！と売り込む			

3年後を見据えた施策
個別の方法論、行政側の考えている点、助成金など

③勉強会実施について（候補：鎌倉）

- ・一般社団法人 ひと・まち・鎌倉ネットワークに打診することとした。
鎌倉支部長の梅澤さんに連絡を取ることにした。（事務局より）
- ・実施時期については、3月上旬（3/10 まで）を予定する。

④全国の活動事例調査 ← 時間の関係上省略（次回へ）

- 1) 全国の指定機構（ヒアリング、視察、文献等） → （候補：鎌倉）
- 2) 埼玉会、大阪会の取組みレポート作成（担当：寺本）

（4）その他

①湘南三浦支部の活動紹介について（ホームページ掲載）

- ・頂いた情報をホームページに掲載することで承認された。また、Facebook にも掲載する。

②忘年会開催について

- ・12/20（金）に臨時委員会を開催することとし、その日に実施することとした。

次回 平成25年12月20日（金） 15:00～17:00 終了後に忘年会実施。

25～26 年度 第 5 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 25 年 12 月 20 日 (金)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	委員長 ○寺本 副委員長 ○花田・○大沢・○小澤 (担当理事) ×平山・○山口・×今井・○小島・○三橋・○芝		
1. あいさつ 寺本委員長より			
2. 各種報告			
① 前回議事録の確認			
② その他 書記決定 大沢 匠			
3. 議題			
(1) 予算案修正について (修正版の説明)			
・ 収入の部で研修会受講料を ¥3,500 として計 ¥168,000 とした。			
・ 収入アップのアイデアとして「街歩きイベント」の提案が芝氏よりあった。 人が集まる魅力的な企画、飲食が付く企画、建物内部が見学できる企画などの意見があった。			
(2) 県委託事業「平成 25 年度応急仮設住宅配置計画 (案) 作成業務委託について			
① 各敷地 (担当グループから) の素案提出 横浜 (平山委員担当) および藤沢 (大沢担当) から提出があった。			
② 11 月 20 日の市へのヒアリング記録を配布した			
③ 図面表現を以下のように統一することとした。			
・ スロープを表現する			
・ 方位を入れる			
・ 縮尺を入れる			
・ 住戸に住戸タイプ (6、9、12) の数字を記入 (ハッチング、色表現はわかりづらいため)			
・ 6 坪タイプは通り沿い優先で配置 (老人入居孤独配慮)			
・ ゴミ置き場を記載する			
・ LPG は個別とする (表記不要)			
・ フットパスは幅 1m 以上とする			
④ 住棟間隔について 5.5m 程度で統一するかについて委員長より県に再確認することとした。			
⑤ CAD 図面が出来ないチームについては作成費を支払うこととした。(ただし上限は 10 万円)			
⑥ スケジュールについて表にて説明された			
・ 2 月下旬最終案を提出			
(2) 景観整備機構になるための準備			
① 支部キャラバンの実施報告			
・ 横須賀支部 : 12/12 (木) (担当 : 小島委員、大沢副委員長) の報告があった。			
・ 横須賀市都市景観協議会の 20 年におよぶ活動は本委員会で聞く会を催すことの提案があった。			
・ 今後の実施計画 県西支部は 2 月に予定しているとの報告があった。(芝委員)			
② 景観整備機構の業務 (7 項目) について意見交換した。			
・ 景観重要建築物の管理は神事協で可能かについて意見交換をした。 指定管理者制度によって NPO が管理している建物がすでにある。 神事協が機構になるとすれば地域の活動をサポートすることになるのではないか。			

③ 第五回勉強会の実施について

- ・「人・まち・鎌倉ネットワーク」熊倉氏とのコンタクトを大沢委員が担当することとした。
- ・ 日程については 2 月 26 日（水）28 日（金）および 3 月 5 日（水）6 日（木）から熊倉氏と調整することとした。
- ・ 時間は前回と同様の午後 2 時スタートとする
- ・ 内容は指定にいたるまでの経過、活動内容、アピールしたいことなどとする。
- ・ 当日の運営担当委員を以下とした
 - 開始あいさつ : 寺本委員長
 - 司会 : 三橋委員
 - ワークショップ : 小島委員
 - 受付、写真 : 山口委員、花田委員
 - 講師担当 : 大沢委員
 - 閉会あいさつ : 小澤理事
 - 懇親会 : 平山委員

④ その他

- ・ 賀詞交換会が 1 月 17 日（金）にあり参加の要請が芝委員よりあった
- ・ 次回の委員会は 1 月 27 日（月）午後 3 時から 5 時

25～26 年度 第 6 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 6 年 1 月 2 7 日 (月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	委員長 ○寺本 副委員長 ○花田(1/27 書記)・○大沢(12/20 書記)・○小澤 (担当理事) ○平山・○山口・×今井・○小島・○三橋・○芝		
1. あいさつ			
2. 各種報告			
① 前回議事録の確認			
② 第 3 次予算案について			
③ その他 書記決定 花田副委員長			
3. 議 題			
(1) 2 6 年度スケジュールの確認について			
・ 2 6 年度委員会の日程として 3 / 2 4、5 / 1 9、7 / 1 4、9 / 8、1 1 / 1 7、1 / 1 9 とした。 上記の分で足りない場合 (臨時) は、4 / 2 1、6 / 1 6、8 / 1 8、1 0 / 2 0、1 2 / 1 5 に開催することとした。			
(2) 県委託事業「平成 25 年度応急仮設住宅配置計画 (案) 作成業務委託」について			
① 各敷地 (担当グループから) の素案提出			
・ 指摘事項の修正については、2 月 5 日までに寺本委員長と事務局に送付をする。			
② 工程確認			
・ 2 月末に一度仕上げて県に提出をする。修正等対応の上最終納品日として 3 月 2 0 日となっている。			
③その他			
(3) 景観整備機構になるための準備			
③ 支部キャラバンの実施報告及び今後のスケジュールについて			
・ 各支部への説明キャラバンについて今まで実施した所については、担当したメンバーで次の手を考える。			
・ 次回は県西にて実施予定。日程調整等については、芝委員が行うこととなった。			
・ 茅ヶ崎寒川の担当 → 寺本委員長、大沢副委員長、山口委員、			
・ 平塚の担当 → 花田副委員長、今井委員、三橋委員			
・ アンケートの扱いをどうするかについて次回の委員会にて検討することとする(これまで 3 回とも状況により未実施)			
④ 景観整備機構の業務 (7 項目) で、何を行うのか。(再検討事項)			
1) 広場、公共施設事業について			
・ 広場などの公共施設事業 (景観重要建造物と一体) →古い個人邸等が該当 (重要文化財、寺、仏間等は当てはまらない)			
・ 広場について景観ルールを立案して実行する。またプラス及びマイナスの要素を整理する。			
・ 景観重要公共施設について→藤沢市 : 海岸周辺が対象施設となっている。			
相模原市 : 桜並木が対象施設となっている。			
横浜市 : 中華街、大通り公園			

また、今後については商店街が対象になるのでは？

2) 企画の提案として

- ・景観重要公共施設の事業へ参加。参加する際の企画の提案として→お寺の骨董市、フリーマーケット、盆踊り
- ・景観を維持するための企画の提案として→ゴミ拾い、景観定期パトロールを委員だけでなく市民の方々と協力をして一緒に行う。
- ・職能を生かす企画の提案となると、団地の再生、緑の保護、少子高齢化の対応か？

⑤ 勉強会実施について（２月２８日）

１．ワークショップのテーマとして

- ・あなたの街の商店街の景観で気になること
- ・景観を維持するための企画について（ゴミ拾い、景観パトロール等）
- ・景観における市民の役割とは
- ・景観と防災について
- ・景観と利便性（道路と樹木等）
- ・鎌倉建築の保存問題、空き家問題→みんなで鎌倉を考える
- ・住宅地の景観

※ワークショップテーマについて当日の参加人数により２～３グループに分かれ、熊倉講師の意見をあおいでその場で決定とすることとする。

２．勉強会のワークショップ時までに準備する物

- ・模造紙
 - ・ポストイット（大きいタイプを何色か）
 - ・マジックペン
 - ・名札（受付時につけるため）
- ・勉強会受付時に懇親会の参加不参加を確認し、また途中参加を促す告知を行う。
 - ・勉強会懇親会会場について講師の嗜好などをリサーチし、事務局にて手配する。
 - ・鎌倉市の景観担当の方に勉強会の告知と誘致→担当として大沢副委員長
- ※また各委員につきまして、勉強会への参加者の誘致をお願いいたします。（チラシ 10 枚ずつ配布）

④全国の活動事例調査

- 1) 全国の指定機構（ヒアリング、視察、文献等） → （候補：鎌倉）
- 2) 埼玉会、大阪会の取組みレポート作成（担当：寺本）

（４）その他

（仮）平成２６年 ２月１４日（金） 15:00～17:00 神事協会議室にて

次回 平成２６年 ３月２４日（月） 15:00～17:00 神事協会議室にて

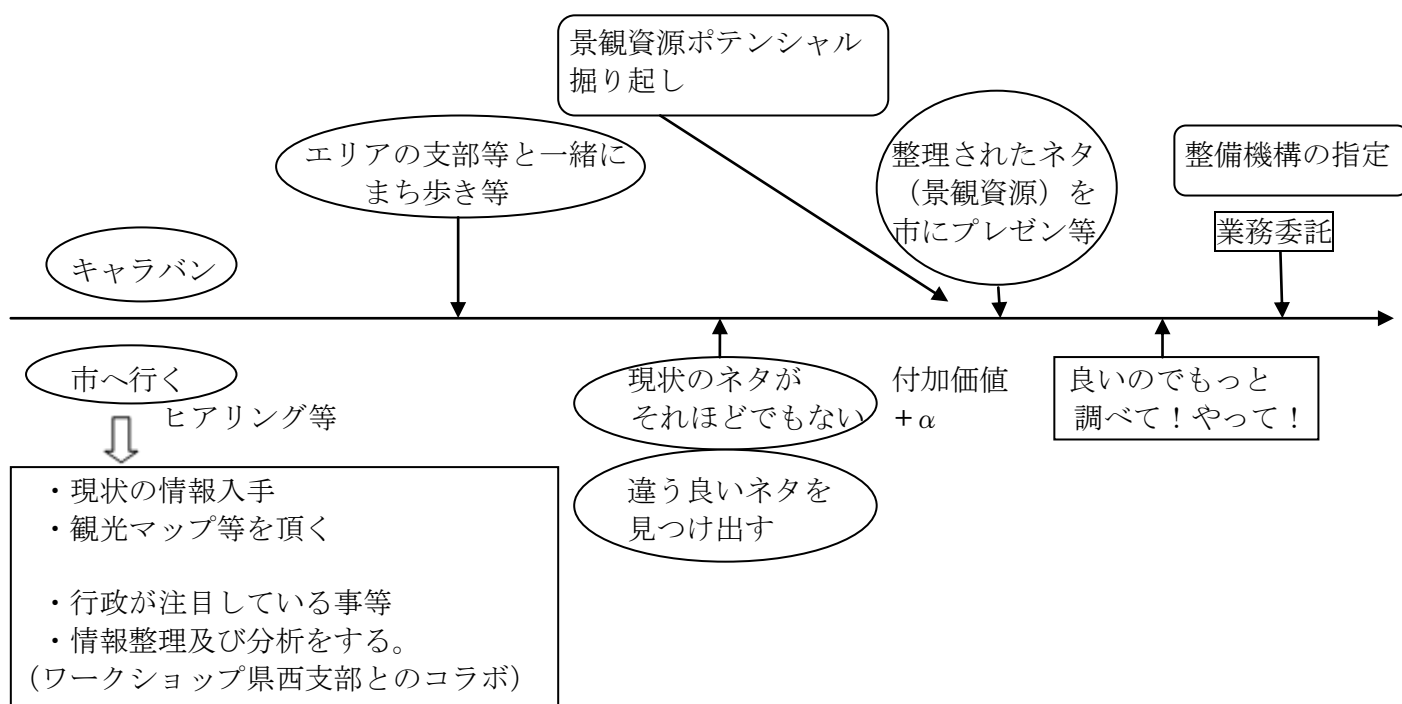
25～26 年度 第 7 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 6 年 3 月 2 4 日 (月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	委員長 ○寺本 副委員長 ○花田(1/27 書記)・×大沢(12/20 書記)・○小澤 (担当理事) ○平山・○山口・×今井・○小島 (3/24 書記)・○三橋・○芝		
1. あいさつ 寺本委員長より 小澤副委員長より 景観まちづくり講座のテキストの内容の説明 国交省の補助金 (来年度) 9 月・2 月のセミナーについて 2. 各種報告 ① 前回議事録の確認 . . . 寺本委員長より 3. 議 題 (1)「景観まちづくり講座」の実施について (依頼) ・「景観まちづくり講座」の内容の説明がなされた。 【講座の実施要件】 ① 景観まちづくり講座は、講義と実習で構成する。 ② 実習では、予め選定された地域の景観計画や景観ルール等を策定することを研修する。 ③ 実習対象地域は、市町村等と協議の上定める。 ④ 実習による成果については、関係の委員会等において、さらに検討の上、当該団体より当該市町村に 対し、景観まちづくりの政策提言を行うことを活動目標とする。 【総講義時間数】 ・ 1 日の講義時間数を 180 分目安とし、全体で 5 日～6 日となる。(計 16 時間 30 分) 【講座テキスト代金】 ・代金 1, 0 2 9 円 (4 月 1 日以降・消費税込 代金前払い・返本不可) ・また継続的に審議をすることとした。 (2) 県委託事業「平成 2 5 年度応急仮設住宅配置計画 (案) 作成業務委託」について ・ 2 0 日に提出なされたことが報告された。(3/2 6 納品が完了されたことがご報告なされた。) ・また、作業費については清算中であることがご報告なされた。 (3) 景観整備機構になるための準備 ① 支部キャラバンの実施報告及び今後のスケジュールについて 県西支部 実施 2/2 6 ・小田原は活動が盛んではあるが南足柄・湯河原については何らかのアクションが必要である。 相模原支部 ・藤野の古い建物調査 (←横浜国立大学) →相模原市+横浜国立大学+神奈川県建築士事務所協会の協力調査 (横浜国立大学との契約は来年度で終了となる)			

〈湯河原〉〈小田原〉〈相模原〉

- ・ 景観観光資源←調査して整理をする（新しいもの・古いものを含め）
- ・ 景観整備機構の話し実例等 + どんな業務が出来るか。



- ・ 県西支部にセッティングをしていただき市と話しをする。
- ・ また、市へ行ってどんな活動を行っているか調べる。
- ・ 観光マップを入手して歩いてみる。またマップにないネタを探す。
- ・ 事務所協会ならではの視点は？
- ・ 地元の活動団体 ←アンケート支部長宛で出そう
- ・ 皆で情報を入手して共有するしくみをつくれませんか？（しくみづくり）



(4) その他

- ・ 助成事業について
- ・ 運営サイト等（情報発信）について

} メールにて発信、その後にやり取りを行う事とする。

次回 平成26年 4月21日（月） 15:00～17:00 神事協会議室にて

25～26 年度 第 8 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 26 年 4 月 21 日 (月)	会 場	神事協・会議室
出席者 (○)	○寺本委員長 ○花田副委員長 ○小澤 (担当理事) (委 員) ○平山 ×今井 ×大沢 ×三橋 ○小島 ○山口 ×芝 (書記：平山・山口)		
1. あいさつ 小澤理事			
2. 各種報告 前回議事録の確認 ・ 景観まちづくり講座は、士会も予定している。			
3. 議題			
(1) 「景観まちづくり講座」の実施			
・ 当委員会では他の業務も多く、単独で取組むのは困難。			
・ 一昨年のアンケート調査にて自治体に案内してみる。			
(パンフレット+当会員にて仲介する為の文書を作成する。)			
(2) 県委託事業「平成 25 年度応急仮設住宅配置計画の業務委託」			
①作業費等精算した。			
②26 年度も案として 5～6 ヲ所程度行う。全体で 33 ヲ所を 4 年程度で終わらせたい意向。			
③27 年度以降予算の増額を検討し、アクションを起こす。			
(担当理事・会長・副会長に依頼する。)			
④小田原市は独自で引続き継続的に検討を続けたい意向が有る。(芝副会長の情報)			
(3) 景観整備機構に成る為の準備			
①支部キャラバン			
● 湯河原町・・・寺本委員長が事前調査を約 3 時間行った。			
● 足柄市 小林支部長と町の担当者と会う為の打合せを予定している。			
各委員にて情報を収集し寺本委員長に 5/12 までにメールで送ること。			
※ キャラバン用アンケートの扱いについては、各支部長に再度お願いしてみる。			
4. その他			
(1) 会報「KANAGAWA」の表紙用写真については、花田副委員長にお願いした。			
「神奈川の風景」の写真(内容：おまかせ)は、5/9 まで			
(2) 建築技術教育普及センターの応募は、「景観まちづくりコンペ」としてはどうか？			
湯河原町を意識して「まち歩き・まちなみコンペ・実績コンペ(ビフォーアフター)・景観支援の発掘」			
を考えてはどうか？			
小澤理事・寺本委員長が 4/24 までにまとめ、応募する。			
(3) 今年度 2 回のセミナーを予定。			
勉強会の内容 ・ 景観整備機構の制度について周知すること。			
・ 湯河原町を対象にテーマをもって「まち歩き」する。			
・ 講師を決める			
・ 次回委員会(5/19)にて内容と工程(日程)を決める。			
内容について各委員検討の上、事前に案を寺本委員長に 5/12 までに			
メールで送ること。			

25～26 年度 第 10 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 26 年 6 月 21 日 (月)	会 場	湯河原・上野屋 (移動委員会)
出席者 (○)	○寺本委員長 ×花田副委員長 ○小澤 (担当理事) ○磯部 (委 員) ○平山 ×今井 ○大沢 ×三橋 ×小島 ○山口 ○芝 (書記：寺本)		
0. フィールドワーク ・ 13 時より湯河原町内のフィールドワークを実施 (町内在住の長田氏にご案内頂く) (オブザーバーとして長田氏ご出席)			
1. あいさつ 小澤理事			
2. 各種報告 時間の都合により前回議事録の確認は省略 ・ 湯河原町都市計画課との打合せ内容の報告 (別紙参照)			
3. 議題 (1) フィールドワークの検証 ・ 12800 歩であった。(大沢) ・ 温泉街が中心のまちであり一つの軸。盛衰の歴史が興味深い。(大沢) ・ 海からすぐ川の景観が素晴らしい。修景のうまくいってる点とそうでない点がある。(大沢) ・ 古い建物が増築の繰り返しで失敗しているかも。(大沢) ・ つまらない形で新しくして失敗している所がある。巧く新しくする。(大沢) ・ まちとしてのビジョンがまとめられていない。湯河原のビジョンづくりが大事。(芝) ・ 川が良い。三面護岸になっていない。(芝) ・ キレイにすること＝治安良、まちづくりの第一歩はゴミ拾い。(芝) ・ ハンパなりノベーションはやめた方が良い。(芝) ・ 外観残して内部をリノベーション等趣旨をもって行なう方が良い。(芝) ・ 上野屋旅館まで駅からバスで 10 分程度。(小澤) ・ 温泉や溪流が印象的だった。(山口) ・ 車で来て歩いて車で帰る (観光会館に車で来る等)、ハイキングコース用拠点等の起点づくりを すると良いと思う。(山口) ・ はぐれ防止対策として行き先の地図を配布すると良い。(磯部) ・ 古い建物をみて歩く趣旨でまちをみる方が良いのでは。(平山) ・ 温泉建築めぐりの企画 (普段みれない建物がみれる) などよい。(平山) ・ 行政は素人である。(長田) ・ 良い土壌をつくろう。仲居さんを大事にしよう。おもてなし。(長田) ・ まず行政を動かすことが必要。(長田) ・ 芸者さんは温泉地のバロメーター (長田) ・ 芸者さんが案内するツアーを実施している。(長田) ・ 職人さんを大事にしよう。(金沢職人学校) (長田) (2) 11 月勉強会について ・ 湯河原まちあるきにて企画。 ・ 90℃の源泉の魅力。(飲める！) ・ 元々湯治場であったことに注目する。東京から一番近い！ (箱根より近い！) ・ 日帰りできる温泉である。 ・ まち歩き等実施して景観賞をあげる等。 ・ 富士屋を調査できないか。(既に実施済？) ・ 行政を動かす。 ☆上記内容を基に次回詳細検討する。			

(3) 8 / 2 3 勉強会について

①内容の確認（別紙案内チラシ参照）。鎌倉市役所景観課より講師承諾の返事あり。

②暑いので冷たいものを用意する。

③室内が暑くなるので長時間はきついためまち歩きも組み込む。

④担当について

司会：平山委員、開会挨拶：小澤理事、閉会挨拶：寺本委員長

受付・写真：芝委員 花田副委員長 山口委員、懇親会：大沢副委員長、三橋委員

会計：芝委員

※懇親会会場手配：大沢副委員長

4. その他

(1) 委員会終了後有形登録文化財である上野屋を内覧。

※ 次回 7月14日（月）15時 神事協・会議室にて

25～26 年度 第 11 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 26 年 7 月 14 日 (月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	○寺本委員長 ×花田副委員長 ×大沢副委員長 ×小澤副委員長 (担当理事) (委 員) ○平山 ×今井 ○三橋 ○小島 ○山口 ○芝 (書記：三橋)		
1. あいさつ			
2. 各種報告			
(1) 前回議事録の確認			
(2) 業務支援委員会出席の報告 寺本委員長・小澤副委員長 出席			
(3) 助成事業についての報告 公益財団法人 建築技術教育普及センターに提出した 3 物件について、採用がされなかった。			
3. 議題			
(1) 景観整備機構になるための準備			
① 8/2 3 勉強会 (酒蔵 Café In 鎌倉)			
・ 内容について、別紙「まちづくり・ひとづくり・しごとづくり 6」を参照。			
・ 集合時間について、13:00 に現地集合。			
・ ワークショップまたは、ディスカッションについては、大沢副委員長に一任する。			
・ 懇親会の出欠は受付時に確認を行う。また、今後勉強会等を実施する場合、金額を含め、お申込み時に把握を行いたい。			
・ 鎌倉市景観課の講師には、お土産を用意する。			
・ 申込状況は現時点で 9 名。各自知り合い等に声掛けをお願いしたい。			
・ うちわ等を持ちよったほうがよいと思う。			
② 11 月勉強会 (湯河原フィールドワーク)			
・ 企画内容について、温泉街をメインとして、普段見れない所の建築物等を設定して、まちあるきのルートを考えたい。			
・ まちあるきは 1.5 時間、休憩等 1.5 時間を目安にする。			
・ 温泉街まちづくり勉強会や行政をからませる様しかけて考慮する。			
・ 富士屋を含め、建築物見学ルートの下調べを 7 月末を目途に芝委員に提出をしていただきたい。			
・ 会費をいくらにするか検討をする。			
・ 東海大学杉本先生のグループも同時期に同じ様なまちあるきの計画を予定している。			
・ 日程は、第 1 候補 11 月 30 日 (日) 第 2 候補 11 月 22 日 (土)			
③ 支部キャラバンの実施報告及び今後のスケジュールについて			
・ アンケートの主旨は、どういう活動を行っているのか、誰が行っているのかを調べることであることを理解する。			
・ 実施報告書を WORD でまとめるので記帳してください。(寺本委員長より)			
・ 茅ヶ崎・平塚については、担当者を再度検討したい。また、アンケートの扱いについても考えていきたい。			
④ 景観			
【横須賀】			
・ 横須賀に対してメンバーの活動がないので、横須賀建築探偵団 (ボランティア活動) の活動が気になるのでアプローチを掛けていきたい (小島委員)			
・ 事務局へ横須賀建築探偵団の方をお招きして横須賀の事をお聞きしたらどうか。			
【伊勢原】			
・ 伊勢原市に産能大学の斉藤先生 (行政との関わりがある方) という方がいる (三橋委員)			
・ 伊勢原の古民家 (小澤家、山口家) を見学しながら散策をしたらどうか (小島)			
・ 雨岳文庫 (山口家) の活動している人々と接点がもてないか。			

- ・上記の件について9月末を目途に実施したい（寺本委員長）

【南足柄市】

- ・活動は行っているが、まち歩きについては、11月以降でボランティアの方々と一緒に歩くのが良い（芝委員）
- ・景観整備機構指定のために他のNPO団体も動いているが我々の活動のためにも良いことなので接触をしたい（寺本委員長）

⑤協会内の調整・スケジュールについて

- ・協会には現在色々アピールをしている（寺本委員長）
- ・講習会スケジュールがあるので事務局より送付していただく（芝）

（2）その他

埼玉会への訪問について

- ・埼玉会へは、浅野氏を通じてアプローチをしている。また、訪問については、歓迎ということなので意見交換会を設けたらどうか。意見交換会の内容として、会の活動・委員会の活動等を報告したり、具体的な事例や指定を受けるためにどうしたら良いか等、資料をまとめてまち歩きを計画しても良い。
- ・訪問有志は、寺本委員長、小島委員、平山委員
- ・日時については、9月10月飯能を中心に一日コースを設定する（担当 小島委員）
→10月25日（土）に検討をしていただきたい。

県委託事業について

- ・県の担当が変わってしまい、今現在は話が来ていない。
- ・神事協全体事業または、支部事業に出来るか今度検討していきたい。

次回 8月18日（月）15：00～17：00 神事協2階会議室にて

25～26 年度 第 12 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 26 年 8 月 18 日 (月)	会 場	神事協会議室
出 席 者 (○)	○寺本委員長 ○花田副委員長 ○大沢副委員長 ○小澤副委員長 (担当理事) (委 員) ○平山 ×今井 ○三橋 ○小島 ○山口 ×芝 (書記：花田)		
1. あいさつ			
2. 各種報告			
(1) 前回議事録の確認			
3. 議題			
(1) 8/23 (土) 「まちづくり・ひとづくり・しごとづくり 6」酒蔵 Café In 鎌倉			
・現申込者 16 名、会場広さとしてはちょうど良いが増やしたい。			
支出： 鎌倉市 土産： 3, 0 0 0 円～5, 0 0 0 円			
講師料 : 1 0, 0 0 0 円			
お茶菓子+飲物： 5, 0 0 0 円			
資料代 A3 白黒： 1, 0 0 0 円			
計 1 9, 0 0 0 円～2 1, 0 0 0 円			
勉強会の流れとして、結の蔵の説明→まちあるき (3 0 ～4 0 分) →ディスカッションを予定。			
(2) フィールドワークについて			
【湯河原】			
・日時：1 1 月 3 0 日 (日) ※予備日として 1 1 月 2 2 日 (土)			
・奥湯河原の温泉街について、歴史的な建物がいくつか廃業してしまっている。			
→財産として残すことは出来ないだろうか？			
・場所の候補として上野屋・富士屋・藤田屋とし、入れるのか確認を行う。			
・旅館組合とのコンタクトを取りアポイントを取る→芝委員にアポ取りを一任			
・チラシ作成(会報入稿のメ切 9/22)：平山委員			
・研修会費 3, 0 0 0 円×定員 2 4 名をベースで検討。			
時間については、13-16 時+α 若しくは 14 時-17 時+α で検討			
・継続したプログラムとして景観資源発掘→次回の委員会までの宿題			
・委員・地元民・参加者・調査票等→寺本委員長がたたき台を作成。			
・何班かで別れて、調査を行う案が出された。また、山・川・海等、全域を 3 回くらいに分け実施。			
・サビれている方向に向かっている原因の調査・良さの確認・魅力の発見をしていく			
・奥湯河原について川に沿って拡がっているため川を利用した内容を企画していく			
(イワナ放流や釣り講習など)			
・研修会テーマとして川と温泉。			
・川と旅館のプロット図の作成を行う。福泉寺～首大仏			
【伊勢原】			
指定文化財である山口家・小澤家を調査予定			
9 月 1 3 日 (土)：1 4 時より 北口交番前にて集合			
【横須賀】			
茅葺き屋根の別荘を見学出来るイベントが 1 1 月に開催される。			
(3) 埼玉会への訪問について(埼玉会浅野氏とのアポイント済)			
1 0 月 2 5 日 午後より飯能へ三名を予定。大沢副委員長の知り合いに材木屋製材所あり			
次回 委員の出欠の確認を行う。			
次回 勉強会	8 月 2 3 日 (土) 1 3 : 0 0 ～	(有)○設計室にて	
委員会	9 月 8 日 (月) 1 5 : 0 0 ～1 7 : 0 0	神事協 2 階会議室にて	

25～26 年度 第 13 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 26 年 9 月 8 日 (月)	会 場	神事協会議室
出席者 (○)	○寺本委員長 ×花田副委員長 ×大沢副委員長 ○小澤副委員長 (担当理事) (委 員) ○平山 ×今井 ○三橋 ○小島 ○山口 ×芝 (書記：山口)		
1. あいさつ 2. 各種報告 (1) 前回議事録の確認 寺本委員長 (2) 理事会の報告 小澤副委員長 (3) 次年度予算案作成 寺本委員長 フィールドワークの回数が増える、委員の増員を計画 ⇒ 増額要求 3. 議題 (1) 景観整備機構になるための準備 ① 8/23 勉強会 (酒蔵 Café In 鎌倉) (担当：大沢委員) - 感想・反省・報告 寺本委員長 - 会計報告 寺本委員長、一部分大沢氏欠席の為次回 ② 11 月勉強会 (湯河原フィールドワーク) - チラシ案：平山委員作成、入稿締切 9/22→印刷・同封 - まちあるきは 13 時～16 時程度 - 芝委員が稲葉氏と近々打合せ予定 - 見学候補；富士屋 (手だてナシ)、青巒荘、藤田屋、上野屋 + 細川氏の茶室 - 県政支部の加藤副支部長に連絡をとり相談する - 日程は、第 1 候補 11 月 30 日 (日) 第 2 候補 11 月 22 日 (土) ③ 支部キャラバンの実施報告及び今後のスケジュールについて - 茅ヶ崎・寒川；青木支部長 (担当：小澤副委員長・山口委員) 来春(3,4 月)キャラバン予定 - 平塚；斉藤支部長 (担当：花田副委員長・三橋委員) 来春(3,4 月)キャラバン予定 - 茅ヶ崎・平塚については、担当者にてスケジュールアップ。また、アンケートの扱いについても考えていきたい。 ④ 景観 【横須賀】(小島委員) - 静観する 【伊勢原】(三橋委員) 9/13 まち歩きの実施、参加者予定 8 名+郷土史研究会 2～3 名 - 伊勢原の古民家 (小澤家、山口家) を見学しながら散策 (2) その他 ●埼玉会 (浅野氏) への訪問について (担当；小島委員) - 訪問予定者；寺本委員長、小島委員、平山委員 (次回参加者再確認) 10/25 飯能近辺をまち歩き予定 ●葉山・加地邸見学(¥1,000.-)；11/22(土)、駅前バス停集合(旧葉山町役場前下車) ●藤野里山古民家ツアー；9/28(日)、バスツアー 3 台 60 名、横浜国大(大野先生)他			
次回	10 月 20 日 (月) 15：00～17：00 神事協 2 階会議室にて (→湯河原にて移動委員会に変更) 11 月 22 日 (土) 葉山『加地邸をひらく』の終了後、委員会開催 11 月 30 日 (日)『湯河原のまちあるき』と旅館建築探訪 12 月 15 日 (月) 忘年会 1 月 19 日 (月) 新年会		

25～26 年度 第 14 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 26 年 10 月 20 日 (月)	会 場	湯河原町 ひばり荘
出席者 (○)	○寺本委員長 ×花田副委員長 ○大沢副委員長 ○小澤副委員長 (担当理事) (委 員) ×平山 ×今井 ○三橋 ○小島 ○山口 ○芝 (書記：寺本)		
1. あいさつ			
2. 各種報告			
(1) 前回議事録の確認 寺本委員長			
(2) 理事会の報告 小澤副委員長			
(3) 次年度予算案作成 寺本委員長 フィールドワークの回数が増える、委員の増員を計画 ⇒ 増額要求にて提出済み			
3. 議題			
(1) 景観整備機構になるための準備			
①11 月 30 日の勉強会について (『湯河原のまちあるき』と旅館建築探訪)			
・本日のひばり荘プレ調査感想所見(別紙)			
・野帳を各自まとめて次回委員会にて提出する。(CAD 化まででなくても良い。)			
・内容および工程は募集案内通り。上野屋、藤田屋は旅館の方による施設案内の予定。			
・集合場所は湯河原温泉観光協会前とする。(最寄りバス停：落合い橋(要確認))			
・委員はひばり荘に 10：00 集合～ひばり荘の清掃および準備を行なう。			
・地図と調査票（富士屋の外観印象の設問含む）を準備する。(担当：寺本)			
《分担担当》			
開会挨拶：寺本			
閉会挨拶：小澤			
各旅館対応とご挨拶：小澤、寺本			
受付：小島、芝			
誘導：三橋、芝、山口、花田			
写真：山口、花田			
懇親会：平山			
・懇親会はひばり荘にて実施（管理人様、オーナー様 10/20 了解済み←寺本）			
・懇親会の食事は仕出しを手配する。(オーナー様の業者指定の意向問合せ中←寺本) また、仕出しの手配のため事前に参加者をおおむね確定しておくようにする。			
・懇親会開始までの 30～40 分程度で温泉体験入浴とする。 (管理人様、オーナー様 10/20 了解済み←寺本)			
・懇親会会費は 3000 円台程度で見込む。			
※参加者に集合場所と入浴される方のタオル持参の告知をする。			
②27 年度予算案について (次年度活動スケジュールについて)			
・前年度予算をベースに景観整備機構指定に向けた活動分を追加した。			
・県応急仮設住宅調査を記載した。			
・提出予算書関係は別紙参照。			
③応急仮設住宅配置計画作成業務の件について			
・前年度同額、同調査内容にて受注。調査対象が 7 カ所となった。			
・年内に現地調査と各自治体とのヒアリングの流れで住宅課と調整中。(寺本)			
《担当者》			
川崎市：平山、山口(敷地が広いため 2 名対応)			
相模原市：寺本			
平塚市：芝			
茅ヶ崎市：大沢			
厚木市：三橋			
座間市：花田			
寒川町：小澤			
・担当者に資料配布した。(座間市は花田委員に後日渡す。)			

・各自治体へのアンケートを住宅課より発信する。項目追加等はなしとする。(別紙参照)

④支部キャラバンの実施報告及び今後のスケジュールについて

・次回各エリア担当者よりスケジュール案を提示

(前)茅ヶ崎・寒川；青木支部長（担当：小澤副委員長・山口委員）来春(3,4月)キャラバン予定

(前)平塚；斉藤支部長（担当：花田副委員長・三橋委員）来春(3,4月)キャラバン予定

⑤伊勢原フィールドワークの結果と次のアクションについて

・見学建物および移動中の景観等についての感想・所見を各自まとめ 10/31 までに寺本まで提出。

・次回委員会にて感想・所見を確認の上、次のアクションを検討する

⑥景観整備機構してに向けた準備

(☐スケジュールについて ☐資料の準備について ☐担当分け)

・次回委員会にて検討する。

・これまでの書類とスケジュール素案を用意する。(担当：寺本)

(3) その他

●委員増員の要望書作成提出（担当：小澤副委員長）

●神事協フェア(11/14、15)についてはパネル展示とする。(対応：寺本)

●運営サイト等(情報発信)については検討していく。(ラーメンマップ、湯河原マップ etc.)

●埼玉会（浅野氏）への訪問について（担当：小島委員）

・訪問予定者；寺本委員長、小島委員、三橋委員

・10/25 飯能近辺をまち歩き予定

●葉山・加地邸見学(¥1,000.-)；11/22(土)

次回 11月22日(土) **JR 逗子駅 14:00 集合**葉山『加地邸をひらく』の内覧終了後、
小島委員会場手配にて移動委員会開催

11月30日(日)『湯河原のまちあるき』と旅館建築探訪

12月15日(月)委員会および忘年会

1月19日(月)委員会および新年会

【湯河原ひばり荘プレ調査報告】

当日実施内容と調査後作業について

一般社団神奈川県建築士事務所協会
景観・まちづくり専門委員会

日時：平成 26 年 10 月 20 日（月）13：00～15：00

参加者：小澤、大沢、山口、小島、三橋、芝、寺本

《調査内容》

敷地および建物全体の目視による状況確認および写真撮影による記録の実施。

「はと」、「すずめ」、「かわせみ」、「うぐいす」の各室の採寸、見取り図の野帳記録の実施。

《所見》

- ・ 同じ部屋でも少しずつ部位の納め等が異なっている。
- ・ 天野屋のように壊されずに活かしていけるようにしたい。
- ・ よくある旅館は奇麗なかんじだが、古い感じがむしろ良い。
- ・ 部屋からの景色を踏まえて外構や別棟など、メインになる建物の周辺の整理が必要である。
- ・ 温泉宿の部屋としての設え（おいてあるもの）がおもしろい。
（津軽塗のテーブル、黒電話、鎌倉彫の鏡台、火鉢など）
- ・ 温泉旅館としての設えが良い。
- ・ すきま風が入る等がむしろ良い。古いままの方がウケの良い事例もあちこちにある。
- ・ 登録文化財の要件だけでなく、旅館の運営や経営としての価値にも興味がある。
- ・ お金をかけない良さというものがある。
- ・ なぜ古い旅館がなくなっていくのかを考えたい。
- ・ 外人の旅行者にこのような旅館のウケが良い。
- ・ どれも本物の材料であり取っておくべき。
- ・ 材毎の材料屋さんがある。丸太屋、ねこ屋、竹屋・・・
- ・ 節付き丸太をそのまま使うのは湯河原らしさ。（箱根ではない。）
- ・ 節が多い等にくどさもかんじる。
- ・ 部屋の造作に自然のままの品が多く見られるのは特徴的である。
- ・ 古い落ち着いた雰囲気のある一方でカラオケバーがあるのはぶれがあると思う。
- ・ 落ち着いたおとなな部分とカラオケバー等は客層にぶれがでてくる。
- ・ 多くの旅館は時代と共に施設を足していつているが時代の流れに少しずつ乗り遅れている。
- ・ 昔に較べていまは旅行の仕方が変わってきている。
- ・ 昔は団体旅行などが多かったが、いまは個人旅行が多い。
- ・ はじめに建てられてから数回の増改築が認められる。一番古い部分に重点をおくと良い。
- ・ 正面左側の棟は作り手が明らかに違うと思われる。（屋根の垂木の形状や納めがちがう。）
- ・ 雨漏りの対処が必要。
- ・ 温泉のくみ上げの施設そのものに価値がある。
- ・ ネット上でのブログ等では料理がおいしいことや落ち着いた雰囲気の良さとお酒の飲める露天風呂の記述がいくつもあった。
- ・ 建具は古く寒いかもしれないが川のせせらぎの音が聴こえ情緒ある良い雰囲気を感ずることができる。

《調査内容の整理について》

下記内容を順次実施します。

- ・ 野帳および記録写真による調査した 4 室および立面の図面化作業。
- ・ 入手図面（消防提出）による図面の復元作業。
- ・ その他の建物経歴等の文献情報等を調査。（謄本入手、関係各所への聞き取り調査等）
- ・ 所見の作成。（まずは今回分のまとめと 11/30 の見学の観処を整理）
- ・ 調査内容を整理分析の上、方針提案書作成。

※ 上記ののち文化財登録に向けた作業と工程表を作成する。

※ 各段階毎に報告書を作成する。

以上

25～26 年度 第 17 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 27 年 1 月 19 日 (月)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	○寺本委員長 ×花田副委員長 ○大沢副委員長 ○小澤副委員長 (担当理事) (委 員) ○平山 ○三橋 ○小島 ○山口 ○芝 (書記：平山)		
1. あいさつ 小澤担当理事より ・ 本年の挨拶 ・ 業務支援委員会、理事会とも予算要求説明を行った。福田業務支援委員長より、景観整備機構は将来性があるので育てることが大切であるとの説明がなされた。 寺本委員長より ・ 三会同賀詞交歓会にて、相模原市のまちづくり担当部長と面識を持てた。 ・ 景観・まちづくり専門委員会の委員の増員も計画中である。 2. 各種報告 3. 議題 1) 景観整備機構になるための準備 ①伊勢原、横須賀、相模原（藤野町）のまちあるきを行なう。 ②平塚、茅ヶ崎の支部キャラバンを行なう。 ③景観行政団体との協議は市の幹部との面識も得たので、伊勢原市を重点的に行う。 ・ 市でこれまでにに行った景観に関する資料を集め 2 月に分析する。 ・ 「商業のまちづくり協議会」の資料を集める。担当三橋委員 ・ 分析の結果を通し、整備機構での業務提案につなげる。 ④湯河原の調査・検討について ・ 2 月の委員会にて機構の組織図等を決定する。3 月の理事会にかけて、4 月には町に提出をする。 ・ ひばり荘の文化財登録については、図面調査（平、立、断。外構：温泉施設含む）と所見（東海大学の杉本先生に依頼を予定）別途、歴史調査（町の歴史、温泉史）のためにヒアリングを行う。 2) 景観・まちづくり専門委員会の委員の増員について ・ 委員候補は 4～5 名とする。 ・ 候補者として、横浜支部：吉田氏、梅原氏。川崎支部：須山愛氏。県西支部から 1 名。これまでの勉強会参加者に募集を行う。			

25～26年度 第18回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成27年2月16日(月)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	○寺本委員長 ○花田副委員長 ×大沢副委員長 ○小澤副委員長 (担当理事) (委 員) ○平山 ○三橋 ○小島 ×山口 ×芝 (書記：花田)		

1. あいさつ
寺本委員長より
・広報情報委員会のホームページリニューアルワーキンググループへ出席したことのご報告

2. 各種報告
1) 前回議事録の確認

3. 議 題

1) 景観整備機構になるための準備
・景観整備機構の組織図(案)の見直し。

ひばり荘の調査報告について
・オーナーと予算計画を作成中、所見については杉本先生に作成依頼をし、快諾をもらっている。

まちあるきの検討について
【伊勢原】
・大山を観光資源にしようとする動きが活発に行われている。(三橋委員)
→この活動とリンクが出来るのではないかな。
・2月19日「商業のまちづくり協議会」商店街のまちあるき - 部会長：古宮氏(旅館)
→上記のまちあるきに寺本委員長および三橋委員が参加予定。
2～3月：都市部に説明に伺う。
10月：大山のまちあるきを企画する。

【横須賀】
・5月ごろにまちあるきを検討。支部長とコンタクトを取りメンバーの増員およびまちあるきの企画を行っていく。

【相模原】
・来年に協働事業を支部にて計画。
・まちあるきの企画は8月に予定することとする。

2) 応急仮設住宅配置計画作成業務の件について

CADデータ化分担(2件、小澤担当理事、花田副委員長)
・25日までに抜けている所、指摘のあったところを修正して事務局より県に提出。

3) 景観・まちづくり専門委員会 委員の増員の件について
・まちづくりに興味ありそうな人に声を掛け増員を図りたい。

4) その他
本会ホームページで発信したいことについて
・委員会の活動報告(講習会、まちあるきの様子)
・会報を見やすく、また探しやすくする。
・イベントの告知や予告。
・委員の募集については、2月中に候補者及び今までの勉強会へ出席して頂いた方にご連絡をすることとした。

次回 3月16日(月) 15:00～17:00 神事協地下会議室にて

25～26 年度 第 19 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 景観・まちづくり専門委員会 議事録			
開催日時	平成 2 7 年 3 月 1 6 日 (月)	会 場	神奈川県建築士事務所協会 会議室
出席者 (○)	○寺本委員長 ×花田副委員長 ×大沢副委員長 ○小澤副委員長 (担当理事) (委 員) ○平山 ○三橋 ○小島 ○山口 ○芝 (書記：小島)		

1. あいさつ

小澤担当理事より

- ・来年度は、景観整備機構の指定を受ける事を目標とする。

2. 各種報告

1) 前回議事録の確認

2) 本会のホームページのリニューアルの準備

3) 次年度の予算については、景観・まちづくり専門委員会については、赤字となっているが、業務支援委員会及び、総財務委員会にて了承済みである。

3. 議 題

1) 景観整備機構になるための準備

①支部キャラバンの実施報告及び今後のスケジュールについて

【伊勢原】

- ・第二次商業のまちづくり協議会についての報告

→寺本委員長より

- ・「まちなみ環境基盤整備部会」の重点プロジェクト

1. まちなみ景観の作成
2. 集客拠点の整備
3. 回遊ルートの整備

→三橋委員より

- ・地元の活動内容について

1. 町歩きの活動報告
2. 町づくりの専門家がない
3. 小規模事業者支援パッケージ 1次ㄨ切 3月27日 2次ㄨ切 5月27日

【横須賀】

- ・小島委員配布の資料について、意見交換がされた。

→チラシに内容について、地図を追加をすることとする。

【湯河原】

- ・景観整備機構指定へのアプローチ

- ①町づくり活動グループとの連携
- ②川とやぐらを大切に生かす→まとめ担当：平山委員
- ③4月以降の街のアポイント

【相模原】

- ・相模原市協働事業の仕切り直し。
- ・相模原ユニコムプラザ事務局にむけて

- ・景観整備機構の業務（7項目）で、何を行うのか及び景観整備機構のスケジュールと提出書類については、検討を継続していく。

次ページへ

2) 応急仮設住宅配置計画作成業務の件について

- ・業務が完了された事が報告された。
- ・今後の業務の担当を委員会以外の人に依頼をする予定とする。
- ・費用支払いの説明及び承認について

3) 景観・まちづくり専門委員会 委員増員の件について

- ・今までの勉強会参加者へメールの発信の報告。
- ・川崎・横浜から各一名ずつ。鎌倉支部より1名を予定

4) 運営サイト等（情報発信）について

- ・本会サイトについて、リニューアル準備をしている。
→委員会情報発信のサイトとして、景観・まちづくり専門委員会が先行・試行。
- ・会員向け、一般向けにわかりやすく
- ・委員会の活動 PR をクローズアップする。

次回 平成 27 年 4 月 20 日（月） 15：00～17：00 神事協会議室 2 階にて